

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教育実習（特支）						授業形態		実習	
科目コード	750157	単位数	2単位	配当学年	4	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	山之内 幹、川田 耕太郎、石本 隆士								ICT活 用	
授業概要	この授業は、大学において学んだ理論や技術を実際の場で実践あい、検証することを目的としている。既に、幼稚園あるいは小学校において指導教諭等の指導を受けながら実習を経験している。特別なニーズを有する児童との直接的な触合いを通して、大学で習得した知識や理論を教育の現実に応用することで実践的な能力を磨く。加えて、教職についての使命感を高め、自己の能力・適性について自覚するとともに、新しい課題を発見し、卒後の学びに反映させる態度等を養う。この実習は、主として4年次後期に行い、同内容の指導を複数の教員で行うものである。									
関連する科目	すべての特別支援教育に関連する科目									
授業の進め方 と方法	実習期間中は教員が巡回して指導を行う。									
授業計画 【第1回】										
授業計画 【第2回】										
授業計画 【第3回】										
授業計画 【第4回】										
授業計画 【第5回】										
授業計画 【第6回】										
授業計画 【第7回】										
授業計画 【第8回】										
授業計画 【第9回】										
授業計画 【第10回】										

授業計画 【第11回】	
授業計画 【第12回】	
授業計画 【第13回】	
授業計画 【第14回】	
授業計画 【第15回】	
授業の到達目標	特別支援学校教諭免許状を取得するための必須科目である。教育実習を通して、特別支援学校における「教育実践」の実践を学び、特別支援学校教諭として必要な専門知識、基本的な指導技術を実践的に理解する。具体的には、発達障害児、特に知的障害児童・生徒を理解し、授業を展開していく力量を育てる場である。また、学習指導案の作成等を通して特別支援学校教育についての実践的力量を高める。 上記事項に基づく実習校の評価が8割を占め、巡回時の研究授業の評価が2割を占める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	・教育実習は、大学を離れ特別支援学校で行われることを念頭に置き、あらかじめ実施校の概要を調べておく。 ・教員には高い倫理観や法令遵守が求められるため、日頃からそれらを意識した生活をするように心掛ける。 ・提出物の期限、勤務時間の厳守など求められる。基本的な生活習慣を身に付けておくこと。 ・実習校と連携を図り連絡調整を確実に実行行動する。
授業時間外学習【復習】	・学習指導案などの提出物は提出期限を見据えて作成する。 ・教員になるための実習であることを常に意識した行動をとるよう心掛け生活する。 ・学校で気づいたこと、学んだことなどを次に生かせるよう日誌を記入しながら振り返りを確実に実行。
課題に対する フィードバック	実習期間中は教員が巡回し、課題の整理を行いフィードバックする。
評価方法・基準	本大学の教育実習評価単位認定方法に照らして評価する。
テキスト	特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説総則編（高等部）文部科学省（2019） 特別支援学校学習指導要領解説（視覚・聴覚・知的）教科（高等部）文部科学省（2019）
参考書	
備考	